

電材流通新聞

(昭和54年12月31日第三種郵便物認可)

第2016号 2015年(平成27年)11月19日(木曜日) (毎週木曜日発行)

第17回「配線器具の日」に寄せて

株式会社明工社・明工商事株式会社
代表取締役副社長

株式会社福島明工社
代表取締役社長 川村 龍 俊



小さくて重要な「仕事」担う

クが往き来するのを眺めながら、弊社の製品はどこへ行くのだろうと考えることが多くなりました。

器具の取扱高がその全売上の1%にも満たないことを知って驚愕したことも合わせた思い出します。

出張でホテルに泊まれば、ついで部屋のコンセントがどこに安くて(?!)、なのに危険物であり、予想寿命を遙かに超えて使用される配線器具。実際に「彼」がどのくらいの数の人の手によって扱われるか見当も付かないのにもかかわらず、それらの人々から直接には買ってもらえない配線器具。なんと健気にして、また愛し、かわいがっていただきたいと切に願う次第です。

福島県須賀川市の弊社工場、福島明工社の社長室で

毎週平日の半分以上を過ごすようになってから、9年弱になります。震災にも負けず毎年きれいに花を咲かせる窓の外の大きな桜の木

の枝を通して、毎日トラックが、電材店にとっては配線

このブランドなのか確かめたいのにもかわらず、それらの人々から直接には買ってもらえない配線器具。なんと健気にして、また愛し、かわいがっていただきたいと切に願う次第です。

配線器具の日にあたり、電材店の方々はもとより、施工に携わる工事店の方々にも、ぜひこんな「彼」のことを、今一度きちんと認識